

地域情報通信基盤整備交付金事業における整備計画の事後評価について

地域情報通信基盤整備推進交付金交付要綱第 8 条の規定により、整備計画に対する事後評価を下記のとおり行ったのでこれを公表します。

平成 28 年 8 月
新潟県五泉市

記

1. 事業名 地域情報通信基盤整備推進交付金事業
2. 事業完了日 平成 22 年 12 月 24 日
3. 総事業費 79,700 千円
4. 交付金額 26,566 千円
5. 整備対象地域 五泉市川内地区
6. 事業の内容
五泉市川内地区は谷に沿って集落が散在しており、採算性や地形的制約により、ISDN サービスのみが提供されていた。
五泉市では川内地区以外は FTTH 方式によるブロードバンドサービスが提供エリアとなっており、地域間の情報格差が課題となっていた。
そのため、本事業を実施することにより FTTH 方式のブロードバンド施設を整備し高速通信が利用できる環境を整備することで地域間の情報格差の是正を図り、住民サービスの向上につなげた。
7. サービス開始日 平成 23 年 1 月 4 日
8. サービス形態 公設民営 (IRU)
9. 契約先 東日本電信電話株式会社
10. 整備計画時の目標

	初年度	最終
整備地域の世帯数	315	315
加入世帯数	69	118
加入率 (%)	21.9	37.5

11. 実績

	H23年 度末	H24年 度末	H25年 度末	H26年 度末	H27年 度末
整備地域の 世帯数	305	302	302	294	287
加入世帯数	97	109	115	120	123
加入率 (%)	31.8	36.1	38.1	40.8	42.9

12. 提供サービス
内容及び料金 フレッツ光ネクスト（1 Gbps）
【費用例】戸建タイプ（H28.6 現在）
・初期工事費：18,000 円
・月額利用料：5,700 円
13. 成果 FTTH 方式のブロードバンド施設を整備し高速通信が利用できる環境を整備することで地域間の情報格差の是正が図られた。
14. 効果
・地域間の情報格差の是正を図り、住民サービスの向上につなげた。
・携帯電話基地局の建設を行い、携帯電話不感地域の解消のため活用した。
15. 評価及び課題
【評価】当初目標とした世帯数、加入率に達し、地域の情報格差の是正に貢献した。
【課題】施設管理ノウハウ不足や、設備の老朽化等による維持費の上昇など財政や維持管理への影響が懸念されている。